

平成30年度 ひきこもり地域理解促進事業

ひきこもり親子の生活設計

少子化と高齢化社会の傾向にある社会の中で、障がいの有無に関わらず、ひきこもり親子もまた、高齢化の傾向に有り生きづらさを感じ将来に対し大きな不安を抱えています。

こんな親子さん達と共に、地域資源の活用・支援の受け方・人との交わりの大切さを知り、生活の見直しのポイントを長年ファイナンシャルプランナーとして多くの人々にアドバイスして来られた「柿田 登氏」を講師に迎え、精神的にも安定でき、希望の持てる生活プランを考えてみましょう。

日 時：平成31年1月13日（日）13：00～16：15（開場12：30）

会 場：横浜市健康福祉総合センター（901・902号室）

横浜市中区桜木町1-1

JR 京浜東北・根岸線 横浜市営地下鉄（ブルーライン）桜木町駅下車（徒歩約2分）

京急本線 日ノ出町駅（徒歩約8分）

内 容：○ **引きこもりを困む社会の現状について**… くじらぐも 青方美恵子
○ **引きこもり親子の生活設計**…

NPO シニアライフアドバイザー協会理事 柿田 登氏

対 象：障害の有無に関わらず、引きこもり、生きづらさを抱える親子と関係者、支援する人、関心のある人

参加費：**無料**

申込み先：特定非営利活動法人 くじらぐも

申込み方法：電話・FAX またはメールにてお申込みください。

TEL / FAX 045 - 442 - 2236

メール npo_kujiragumo@yahoo.co.jp

問合せ先：090 - 4393 - 2851（代表 青方）

主 催 特定非営利活動法人 くじらぐも

共 催 神奈川県立青少年センター

会場案内図



<講師プロフィール>

シニアライフアドバイザー

柿田 登

(1935年生まれ。横浜市神奈川区在住。東京理科大学理学部卒業)

平成15年、任意団体「関東シニアライフアドバイザー協会」のNPO法人化を進め、初代理事長を経て、現在特別理事。ジェロントロジー(老年学)を基盤とした、シニアライフに関する生活総合相談、各種講演・講座研修会等の啓発事業を通じて、高齢者の自立・社会参加・社会貢献に向けた諸活動の展開に注力。

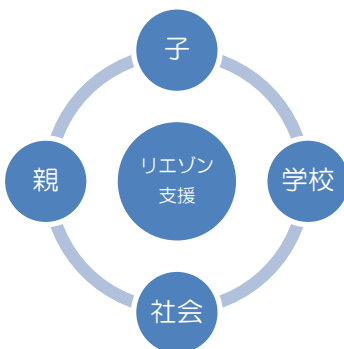
地域では、横浜市社会福祉協議会・神奈川区社会福祉協議会のボランティア・市民活動部会委員、東横フラワー緑道運営管理委員会の運営委員会の委員を勤め、「反町駅前ふれあいサロン」の運営委員会の委員にも参加、障がい者に対する社会参加支援にも携わっている。

<団体プロフィール> 特定非営利活動法人 くじらぐも 『社会は人が創る』

今を遡る40年前から「全ての子どもの教育と健全育成」に努めて来た者達が集い、平成16年に関係機関と連携の下、より「社会に責任を持った立場で」「誰もが分け隔てなくその人らしく生きて行ける地域社会の構築」に寄与したいと、この法人を創りました。

くじらぐも の名称は「ぐり と ぐら」でお馴染みの 中川 李枝子先生から

「子ども達の夢をいっぱい乗せて 空高く舞い上がれ」の お言葉と共に付けられました。



(活動内容)

○発達障がい・精神疾患 ○不登校・ニート・ひきこもり ○家庭、社会における人間関係 等様々な困難・生きづらさ を抱える乳幼児から児童生徒青年とその家族・関係者に対して「相談」「心理療法を踏まえたカウンセリング・個別、集団療育指導」「親の会・勉強会」「学習補助」「就労支援」等を『親と子と学校・社会を結ぶリエゾン』を支援の支柱とした支援活動をしています。

※ リエゾンは連結・結合・仲介の意味を持ちます。

このチラシは長くひきこもっていたK君24歳が作成しました。

K君は3年前から「くじらぐも」との交流を通し、最近では外出、物事に取り組む意欲が出てきました。